

脳ミクログリアの疼痛に対する役割を検討するために、
ミクログリア仮説を3つの観点
(慢性疼痛の動物モデル、心療内科慢性疼痛患者、精神疾患と痛覚系)での異常と
心理社会的ストレスが脳ミクログリアに与える影響を検討

愛情遮断を受けた慢性疼痛動物モデルにおける
ミクログリア異常の脳科学的解析 (津田・井上)

ミクログリア病であることが知られているNasu-Hakola病で
有用であった誘導ミクログリア様細胞評価システム(特許申請中)を
客観的評価法として慢性疼痛評価に応用できるか?

慢性疼痛 心療内科患者における
誘導ミクログリア様細胞の異常・臨床病態
(加藤・神庭 & 細井・須藤)

精神疾患と慢性疼痛
痛覚系の異常とミクログリア異常
(橋本 & 加藤・神庭)

臨床研究 慢性疼痛患者における末梢血誘導ミクログリア様細胞

九大精神神経科 加藤 扇谷 神庭
(サンプル採取: 九大心療内科 細井、岩城、須藤ら)

採血



単球

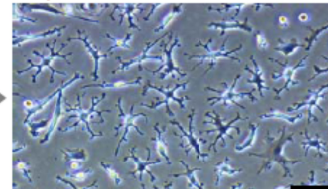


国内特許および
国際特許出願中

✓ 2週間の誘導
✓ 2種類の試薬

iMG

(末梢血誘導ミクログリア様細胞)



心療内科受診中の慢性疼痛患者および健常者から合意の元で採血を行い
2週間でiMG細胞を樹立

iMG細胞の活性化特性を調べるために、以下の項目を測定した:

- 1) 各種刺激物質(ATPなど)による炎症性サイトカイン等のmRNAの発現
- 2) 貪食能